

コマキストクラブの

誕生

北嶋 敏男

〈神戸市立文書館々長〉



プロマイド風に表紙全面の顔写真、見開くと朱色地に墨で、「六甲のアジサイも日毎に美しく……、そしてアジサイよりも美しい女優さん……。」と入会お誘いの案内状。栗原小巻神戸後援会「コマキストクラブ」が、八月初め、華麗に発会した。

栗原小巻「劇団・俳優座の、わが国の代表的な女優として、演劇、映画、TV等多多彩な分野に、また国際的にも幅広く活躍中である。彼女が初めて来神出演したのは、一九六六年「アンナ・カレーニナ」とのこと。それ以来毎年のように来演している。「ルル」「アントニオとクレオパトラ」など。一九七九年三月には、ミュージカル「マイ・フェア・レディ」の神戸公演で、花売娘イライザの役を熱演熱唱し、一段と演技の幅の広い印象を残した。このミュージカルによって、彼女は文化ホールの大ホールを、また演劇によって中ホールを、両ホールの舞台を踏む経験を持つ。

文化ホールの大ホールは音楽ホールとして屈指のレパルを誇る。中ホールは演劇ホールとして全国最高の水準にある。宮崎市長の実際にホールを使う人の意見を尊重してという考えのもとに、設計建設された結果である。故宇野重吉は、演劇ホールなら神戸文化中ホールをと



宮崎辰雄・神戸市長と一緒に

神戸後援会発会式

推賞され、事実、かつて演劇関係者によって全国の演劇ナンバーワンホールに選ばれたのはこの中ホールであった。市長は、演劇人とも機会があれば懇談されている。厳しい訓練、舞台一筋ともいべき真剣さ、演技の工夫、劇場の良し悪しなどいろいろと熱心に聞かれる。その中には劇団俳優座の方々も含まれている。

一九八三年。神戸文化ホール開館十周年記念として、一日館長に、栗原小巻さんが選ばれる。十月一日の記念日当日、市長からの辞令交付、館長就任記者会見、神戸フィル・ベートーベン「第九」演奏会等多忙な日程を華や



朗読をする小巻さん

かに務める。翌日、さんちかホールでの安井賞受賞者特別展にも参列、テープカット、当日夜、レセプションに参集した多くの神戸の人々と交歓の輪を拡げるのである。

「メアリ・スチュアート」「セツアン善人」「恋愛論」等、彼女の公演は次々と続くのであるが、その間神戸のコマキストは、彼女が神戸のコマキストは、彼女が神戸に来たといえは演劇を鑑賞し、時には歓迎の会を開き、ある人は誕生日には花束を届け、ある人は東京まで演劇を観に行くこともいとわず、時の来るのを待つのである。一九八九年一月、神撫会（旧三中・長田高校同窓会）主催の「アストラ・コンサート」に栗原小巻が特別ゲストとして、朗読と歌を演じる。次の公演を控え、多忙な練習の日程をさいての文字どおり特別の来神で、その人柄に関係者大いに感銘をうけたものである。その夜、神撫会と「神戸ワインサロン」合同のレセプションが開催され、この席で、後援会の結成が提案される。

八月二日、生田神社会館での発会式は華々しく行われ、かねて彼女ならばといわれていた宮崎市長が、会長に就任された。名称も当初ニックネームに予定していた「コマキストクラブ」を主として使うことになった。式上、彼女は、ピアフの自伝の一節の朗読とシャンソン「バラ色の人生」と「水に流して」の二曲を歌い、入会者に応えた。芸術を鑑賞することもまた立派な芸術活動であるといわれる。演劇活動ひとつを取り上げても、俳優、劇場、観客のどれが欠けても演劇活動は成立しない。文化芸術の輪は着実に拡がっているが、一層身近なものにしたいものである。「コマキストクラブ」、栗原小巻の演劇活動を支援し、会員相互の親睦を図ることを目的にしているが、自由な雰囲気な会にするため、会則もホンの数行しか決めなかった。会員が思い思いに文化を語り、明日の神戸を夢見ながら、品良く楽しい余裕の一刻を過ごすような会になることを願っている。

★栗原小巻神戸後援会へ入会御希望の方は、電話 078 801-1199 長島 隆まで。

経済ポケット ジャーナル



★神戸J.C.次年度理事長に
増田晴信氏が内定

(社)神戸青年会議所(松田茂樹理事長)は、8月12日に開いた理事会で、次年度第32代理事長に増田晴信氏(陵樹閣社長)が就任することを内定した。

同氏は、明治初期に創業された有馬の名門旅館陵樹閣の6代目社長。神戸青年会議所には昭和58年に入会し、経済政策室長、社会室長を歴任、本年度は副理事長として活躍している。

9月22日の総会で正式決定の後、平成2年1月から1年間、理事長職を務めることになる。

昭和49年専修大学経済学部卒業、37歳、神戸市出身。



増田晴信氏

★神栄の中央研究所が
西神に完成

神栄株式会社電子機器事業部の拠点として、神戸市西区室谷二の神戸ハイテクパーク内に建設中であつた中央研究所(二階建て、千四百平方米)が完成した。

技術革新の中にあつて、時代の流れに乗り遅れることのないように研究開発機能の強化、充実を図っている。完成した研究所には、綾部工場(京都府)にあった研究開発室が移転、空間制御センサーや新固体コンデンサーなどの研究、開発に取りくんできく。



完成した中央研究所

★フジッコ、ボーアイに
新本社建設

総合食品メーカーをめざす、株式会社フジッコ(本社西宮、山岸八郎社長)は創業30周年を迎える来年末の完成をめざし、神戸ポートアイランドに新本社ビルを建設することを明らかにした。新ビルの名称は「フジッコF・F(フーズ・アンド・フューチャー)センター」敷地面積は約四千平方米、地下一階、地上八階(一部九階)建てで、延床面積は八千平方米。社名の頭文字の「F」を形どった外観とし、中庭を設ける予定。

国際都市としての情報の集積と発信機能を持つ神戸ポートアイランド・ファッショントアウンに、人と建物との調和がとれる理想的な空間を設け、高度な情報通

信設備やシステムが導入可能なビルとし、研究開発機能を充実させ、「お客様との接点を求め、何を求めているのか、共に考える場をつくり、開発する」という主旨のもと、新本社を建設していく。

総工費は土地代を含めて約40億円。内部は本社・研究開発部門のほか、一、二階にはホールやロビー、主婦向けの料理教室のスペースを作る。

★KOBEOフェイスレディ★

朝比奈由紀子さん(24)

UCLA外語学院
三ツ宮キャンパス勤務



「明るいイメージを持っていたけると、さわやかに答えてくれる彼女は、英会話学校で受付事務の仕事にはりきる毎日。1年間のアメリカ滞在の経験をいかしたいということでの仕事を選んだそうだ。旅行が好きで、ヨーロッパやハワイなどにも出かけたことがあり、外国での生活と合わせて、「自分を表に出すことがとても大切なことだと感じるようになった」という。明石市在住。射手座のB型。



新本社完成予想図

どう
活きるか



青木 幸夫 代表取締役

★これからの商業不動産

あなたの店の主治医は？

青木 幸夫
〈株式会社エルアイシー
代表取締役〉

●不動産にも主治医

私が前から申し上げていますように、人は活かされてこそ生きるものであり、それは土地、建物にも同じ事が言えます。土地、建物は生き物なわけです。

私達の中には、〃かかり付のお医者さん〃にお世話になっている方が、随分いらつしやると思いますが、すぐれた、しかも自分に合う医者をお持ちの方は、大変幸せですし、人生をまっとうできます。

何らかの商業不動産をお持ちの方、その不動産を有効に活用し、維持、管理していくにも、人間と同じようにかかり付の医者、主治医が必要ではないでしょうか。土地を所有した当初というのは、人

間であれば幼年期にあたりますが、その時に十分な愛情のもとに育まれきつちりと躰け、教育を受けている事が、後々の人間形成に大きな影響を与えます。ですから不動産におきましても、それを有効活用する最初の段階で、いかに細かく世話をするかが、非常に重要なわけです。不動産は我々よりも長生きをします。初期の頃から主治医を持ち、健康を管理する必要性があります。

●自分の事はわからない

まかしまかされるという話を、以前致しましたが、まかすという事、安心してゆだねられる主治医を見つける事も肝要です。自分の土地には、どういう処方箋が必要

か、土地を活かすには、どんな建物が良いか、また現在の建物を長生きさせるために、リニューアルをどうするか等を相談できる主治医が、これからは必要です。

自分の事は、案外自分ではわからないものです。私どもは商業不動産コンサルタント会社として、様々なチェーン店さん等の仕事をさせていただき、今年もいろいろな作品が生まれます。飲食総合ビル、飲食・フアツションのミックスビル、あるいは今まで県下には一軒もなかったような店も、何軒か誕生します。LICは〃街に新しい光を〃をテーマに、今後も街の活性化に尽力を傾けていきます。

この業界では、単に仲介するだけで事足りるという風潮もありますが、それでは何の発展性もありません。私どもは商業不動産を総合的にとらえて、テナントさんの企画、マンションの差別化等を考え、有効利用のお手伝いをしていきます。

私どもLICは、商業不動産の主治医として、不動産を有効に活かしたい、あらゆる方のために、開業いたしております。

□株式会社エルアイシー

神戸市中央区港島中町6丁目9番地の1
ポートアイランド国際交流会館8F

(078) 302-4009

ワインデイ三宮が魅力ある

劇場都市の眼に

□座談会出席者（敬称略・順不同）

森本 泰好（神戸地下街（株）専務）

東条 隆裕（マミー（株）代表取締役社長）

野村 克彦（そこう神戸店取締役店次長）

熊野 稔（そこう神戸店取締役店次長）

長澤 基夫（（株）ナガサワ文具センター取締役社長）

古川 周二（（株）古川軒代表取締役）

久利 計一（メガネの大学堂専務取締役）

中本 伸一（三宮センター街3丁目（株）商店街振興組合副理事長）

安藤 輝雄（（株）三愛SC事業本部本部長付担当部長）

竹内 孝（（株）ピンク卸代表取締役）

中西 敏之（（株）阪急百貨店神戸支店総務課長）

高木 剛（（株）ブランタン三宮営業企画課マネージャー）

西 昇（（株）神戸サンセンタープラザ専務取締役）

そこう神戸店、ブランタン三宮、神戸阪急、三宮センター街、さんちか、さんプラザ、センタープラザ、セン

タープラザ西館の八組織で結成されたワインデイ三宮。九月で結成一周年を迎えるにあたり、その結成の経緯、活動状況、今後の展望などをワインデイ販促委員の方々に伺った。

★神戸の「顔」三宮から文化情報発信を！

森本 三宮の再開発もあり、商業集積地としての機能が増えてまいりました。この辺で発展的に大成させたいというところで、そこう、神戸阪急、センタープラザ、センタープラザ西館、ブランタン三宮、三宮センター街、さんちか、さんプラザの八つの組織で結成しました。梅田に対抗する広域商店街として、三宮の共通問題を勉強していこうということ。この地域には、百貨店やセンター街のように本店中心の商店街もあれば、支店集団もある。いろんな種類の商業施設があります。ご承知のように、価値感の多様化でお客様の好みも益々細分化されてきています。従って、店の方もおののセールスポイントを確立して、いろんなタイプの売り場がひとつのグループをつくるということが面白いのではないかと。ですから、この三宮グループも、私はゆるやかな連帯でいいんじゃないか、個々の範囲でより個性になった方がいいんじゃないかと思うんです。

けれど、いま申し上げたように共通の問題があるわけですから、第一ラウンドとしては、梅田と競争しないと



森本泰好さん



東条隆裕さん



竹内 孝さん



西 昇さん



安藤輝雄さん



能野 玲さん



野村克彦さん



中本伸一さん



古川周二さん



久利計一さん



長沢賢二さん



中西敏之さん



高木 剛さん

いけない。その段階では皆さん肩を組まないといけないというところからスタートしているんです。ただ三宮もあひ意味においては成熟化している。あえて老化現象と

は申しませんが(笑)。この辺りで新しい考え方、新しい新代に対応していく。新しい都心の商業集積のあり方を目指して、新しい若い力をお願いしたい。若い皆さん方の販促委員会ですべての方向をだしていこうじゃないかと。私はその応援団です。

野村 それぞれの集団が個性ある集団ですので、急速に一つの目的に凝縮しあっていくのは難しい面がございいます。三宮グループとしてのトータルな機能と、それぞれが持っている力をどう活かしていくか。運営上でそのバランスが非常に難しいところです。私もそここの立場から言いますと、今までの商店街からですと三宮の中で東の端のポジションだったんです。それがどんどんいろんな商業集積をふくめて開発がなされて、次第にポジションが中心に寄せられてきて、好立地になっております。また三宮全体が益々パワフルになってきていると思います。ハーバーランドとか副都心の計画もありますが、あくまでも都心軸である三宮がしっかりしていないと、付随する副都心としての機能が果てなくなると思います。

このグループの方向性は二つに分けてまして、一つは従来のようなクリ

スマスセールとかサマーセールとか、神戸祭にだし物を出してアピールするといった団体のものと、もう一つは、三宮に都市としてのどのような機能が必要なのか、そういうことをお客様に問ひかけながら、もう少し、具体的に街づくりを徐々にやっていく必要があるんじゃないか。この二つの軸で仕事を進めていっている段階なんです。

東条 神戸は海があって山があって、おしゃれな街、神戸といえど三宮というところで、若いギャルや遠方からも人が集まってきました。土、日曜になると、他府県ナンバーの車が非常に多いですね。花火大会の時、ある他県の方にインタビュしたところ「神戸はいいですね」と「おしゃれな街だから」と言うと思っていたら「ライトアップ出来る建物がたくさん残っているんだね」と言われたんです。そういう足元を見直さないといけないし、神戸の良さというものを発掘していかないといけないんじゃないかと思うんです。活性化といって新しいものだけをとり入れるのじゃなくて、神戸の良さを再発見していくのが、我々商業に携わっていくものの責任ではないかと思っています。

中本 私どもは、三宮グループの西の端を守っている商店街ですが、メリケンロード、鯉川筋からトアロードにかけて、この区域が最近また見直されているんじゃないかと思っています。これからいろんな活動をしていく上で、東側だけに頼らず、西の方のポジションを確立していきたいと思っています。

古川 私は三宮センター街一、二、三丁目のPR委員長をしています、目先の利益といえますか、何かイベントをすれば数字的な盛り上がりがあると、こういうことを期待しているのが現状だと思うんです。三宮センター街としては今後、セールのイベントよりも、文化的なイベントをしたいと思っても数量的なパワーがなかった。そういう面で、ウィンディ三宮という大規模な集積のなかで、今まで三宮地区にはなかった文化的イベント

が出来ればと期待しています。そうすればいろいろな情報も入ってきますし、全体の中から三宮センター街を見ることも出来る。そういう効果もあると思います。

長澤 戦後から今日まで、さんちかがスタートととなつて、三宮地区の形が出来上ったのは、まさに今日だと思ふんですね。そこで商売を続けていくには、最終的にはお客様とのつながりだと思いますので、お客様と店とのつながりを出来るだけパイプで結んでいくことを、このウィンディ三宮でやっていけたらと考えています。

お客様を固定化すればいろんな意味でのサービスをどう表現するか、その前にセンター街として、ウィンディ三宮としてどう表現するかということです。そして最終的には、神戸と三宮とのつながりをどうもっていくかだと思ふんです。

高木 三宮という商業集積地にウィンディ三宮を通しておもしろさをインプットし、その協調の中でお客様にどうアピールするかですね。

竹内 ウィンディ三宮が三宮トリオから発展成長して、その中に参画させていただき、私がいつも思うのは三宮は一つのターミナルであるし、流動客もそこそこあるんですが、基本的には街そのものとしてハード面で未完成であるということです。文化の話がでしたが、アメニティの部分で頼りないんじゃないか、遊びの部分とか、そういう部分が不足していると思うんです。そういった開発を早くしていただければ非常にありがたいと思ふんです。

西 さんちかが出来た後、45年にさんプラザ、50年にセンタープラザ、53年にセンタープラザ西館というふうに順次出来上ってまいりまして、ハード面での建物は出来たのです。その中の店舗は五百ほどありますが、センター街に面したところは別として、中に面したところで、三宮の立地条件がいいものですから、それに甘えて敷にとじこもっているという部分があるように見られます。

私どもは管理を担当していますので、皆さまにご迷惑をかけないようビル管理をやっていききたいと思っています。毎年二回、流動調査をやっております、もうひとつここ数年の伸びが鈍いような感じがするのです。特に西館にいくほど少ない傾向がありますので、その辺また三宮全般の問題として考えていかねばならないと考えております。

安藤 私なんかは東京から来ているものですから、三宮の印象というのを最大公約数的に言えるかなと思っております。どこの都市にもありますが、神戸は特にプラス要素の方が多いですね。それがいい街であるという印象を強く与えている部分でもあるのです。そういう時にこのウインディ三宮が結成されてタイミングが良かったんだという印象をもったのです。それぞれの分野をまとめて、いかにウインディ三宮というネーミングを浸透させていくか。率直に三宮の現状を意見を出しあつて、欠けているものをどんどん補ってほしいと思います。文化面での施設ですがマイナーなものを含めて、場所が少ないですね。増やさないといいですね。

熊野 十一年間、神戸を留守にしていって出戻ったわけですが、三宮は大きくなったなあ、立派になったなあと感じました。神戸は多様性に富んでいます。商業集積はもちろん、文化面でも「食」に関してもそうです。よそからは「憧れの地」として見られ、特に若い人たちにうけている。

中西 私どもとしては、このウインディ三宮の一員として神戸のオリジナリティを生かしながら、点でなく面として活動できないかと考えております。

★これからは智恵とセンスが勝負の時代

森本 商業集積地をつくっていくということは、私は全くの「街づくり」だと思います。私は「街づくり」のキーワードとして「M・A・G・I・C」と言っておるんですが――。

Mはミックスユース。機能の複合化。先程もご指摘が

あったように、三宮はショッピング機能にかたまり過ぎている。他の機能がない。だから間がもたない。やはり文化情報機能が必要です。ショッピング機能に他の機能を結びつける必要がある。それから、Aはアメニティ。Gはグローバル、Iはインフォメーション、Cはクリエイティブ。これにローカリティ、地域性をどう味つけしていくかをプラスすれば、大体の条件はそろってくる。

さんちかが出来て24年目になりますが、ああいうちっぽけな中に、あえてギャラリイやインフォメーションコーナーをつくった。さんちか広場というわずかな空間をつくるのに、何回か役員会議を開いた時期があったんです。結果的にささやかなスペースを確保してきたことが、今のさんちかの特色になったと思います。

野村 すごうの立場でお話しますと、東の横浜店と西の神戸店とが常にあるんな点で話題になるのですが、横浜も神戸も港まちで非常に似ております。ただ横浜は完全に東京の中へ機能として吸収されている。関西の場合は神戸、大阪、京都とそれぞれ独立の文化圏をもっております。ただ文化的なものを見る限りでは、最近はず神戸は大阪あたりに吸収されているような気がします。そういう意味でもっと独自の文化圏をつくり上げていかないといけないと思います。ウインディ三宮としても、神戸のために美術館や多目的ホールなどをぜひもちたいと思います。私どもも、そこクラシックコンサートを国際会館で行っておりますが、現状のもてる機能をフルに活用して提供できればと考えております。

東条 私は、文化というのはハード面だけつくっても、なかなか育つものではないと思います。あえて神戸人という言葉を使うならば、やはり神戸人の気持が固まらないと、文化は発展しないと思うんですね。われわれ、商業人の立場から、本気になって精神的サービスをやっているのかどうか、気になりますね。住んでいる人間が、商売に携わっている人たちが、気持ちのいいサービスをするという心がないと、ハードな部分だけつくって

も仕方がないと思うんです。

久利 私は神戸の風土、神戸らしさを忘れてはならないと思うんです。今の商売が、「何が売れているか」傾向になっている。全ての店が右へならえなんです。そうじゃない、店は「何かを売る」ものなんです。最先端の感性をとらえた上で、昔ながらの個々のもつ個性を生かさないで、いくら文化に対してハード面だけをつくっても仕方がない。街（三宮）全体に文化に対する理解が伴わないと。そう、店が、都市全体が劇場なんですよ。

中本 行政の方から、もともと文化、スポーツ、各種イベントの細かい情報を提供してもらおうと、われわれグループはそれをサポートすることができると、われわれでしょうか。

古川 文化をいかにとり入れるかという問題ですが、三宮センター街はスペースがないんですね。で、われわれは特に市立博物館などのイベント性の強い大きな施設に呼びかけて、タイアップする方法など暗中模索している状態です。

長澤 三宮の場合、表面的には出来上がっているも、自分たち商売人も、もっと勉強して文化を身につけて、それをお客様に表現出来ないかと思いつつ、毎日仕事をしているんですが…（笑）。ちょっとした補助的なスペースが出来ればなとも思います。

昔のセンター街は、専門店には各店舗のおかみさんの魅力があった、人間的な魅力が。それが最近薄れていると思います。

野村 そうですね。マンパワーというのは非常に大切だと思います。「人の魅力」というのは大きいですね。ただ口で言われているほど大切にされていないのが現状ですね。

竹内 特に思うのが交通センタービルの南側。神戸の超一等地ですね。いろいろ権利関係が難しく、一度再開発して繰り引きしてあるから、神戸の行政の方も手を出さずにいるようですが、せつかくあれだけの場所がある

んですから、再々開発してほしいところですね。

安藤 私が市の行政の人と話をしているのは、小さな問題、大きな問題でも全部チャンスをもった時にいかにわれわれがアピールできるか、そういう働きかけがこれから必要じゃないかということです。文化の面でも、同じ士俵にあがっていかぬと、話が前に進まないと思うんです。

森本 地方自治体では神戸市はまだ民間との話し合いがしやすい方ですね。

野村 三宮という都心軸の中心に文化機能など欠けている点を改めて調査した時に立証されてくると思うんですね。ハード面で、具体的に実現可能なものから着手していきたいと思っています。また行政とのコミュニケーションをもって意見を交換できる状態にしたいですね。

この三宮商業グループが、商売という意味だけでなく、情報発信基地のようなエリアになることを望みます。例えばハーバーランドが出来ることで、新しいものをつくる魅力があると思うんです。しかし男が疲れた時に、赤ちようちんで飲みたい気分になるように、その街の泥くささも忘れずに、それを生かしながら欠けている部分を補っていい街にしたいと思っています。

森本 最近、大丸を軸に元町界隈の活性化が進んでいますし、やがてハーバーランドも出来る。しかしやはり神戸の中心は三宮だと思うんです。なぜなら、新神戸駅からポートアイランド、将来は関西新空港への縦のラインが完成するわけです。この南北地区が少なくとも五十年、百年のサイズで考えた時、神戸の中心となることは確実です。ですからウインディ三宮は、神戸の顔であり続けたいといけません。

ちょっといい格好で言わせていただくなら、生活文化の根拠地として、ウインディ三宮から常に全国的に話題が発信されたいいけない。そういう意味ではこれからは、やはり若い人たちの知恵とセンスが勝負の時代だろうと思います。△神戸国際会館8Fコミュニティホールにて収録▽

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町 6 丁目 5-1
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「神戸の観光と魅力を探る」の
企画は以上各社の提供によるものです。



砂原 副校長

—— 井さん、現在教育は非常に多様化しています。大学への進学率が高まる一方で、専修学校の良さが見直されています。国際化時代と言われる昨今、それに即した学校づくりが必要だと考えたわけですか。当然カリキュラムも語学

まず初めに、創立の目的をお聞かせ下さい。

井さん、現在教育は非常に多様化しています。大学への進学率が高まる一方で、専修学校の良さが見直されています。国際化時代と言われる昨今、それに即した学校づくりが必要だと考えたわけですか。当然カリキュラムも語学

国際舞台で日本が活躍する場もどんどん広がり、語学はもちろん、日本人の国際化が求められている。神戸山手学園の姉妹校、神戸山手インターナショナルアカデミーは、その国際的な校風で知られる、今注目の専修学校。



■インタビュー

少人数に徹して 国際人の養成を

神戸山手インターナショナルアカデミー

白井 康夫 校長

砂原 規子 副校長に聞く

が多いのですが、その実習のためにシアトルの州立ワシントン大学と提携し、希望者は夏の一カ月間、研修を行っています。語学に対する興味はもちろんのこと、人間的にも相当自信がつくようです。

砂原 今年で開校5年目を迎えますが、それを一つの節目として新しい展開をはかり、このたびシアトルにあるシヨアライン・コミュニティ・カレッジという、公立の短期大学と姉妹校提携をいたしました。

白井 と言いますのも、一カ月の夏期研修ではもの足りなく、もっと現地の学校で勉強を続けたい、という声があるからなんです。ベル学長も特に本校との提携を望んでおられて、正に幸運な出会いでした。他にもペンシルヴァニア州のシートン・ヒル・カレッジ（四年制女子大学）とも提携しております。

砂原 夏期研修にしましても、単に語学研修だけではなく、アメリカの家庭とも深い関わりを持ち、料理実習、ホームパーティーをし、又老人ホーム慰問など、アメリカ人の社会生活をも知るよう試みています。

白井 日本で英語を学ぶには、やはり限界がありますね。アメリカの大学に入るには、TOEFLというテストで各大学で定められた得点を得ることが必要な条件ですが



上/現地カウンセラー大川さん、的場さんと
右/州立ワシントン大学のスタッフと記念撮影



上/神戸山手インターナショナルアカデミーの
モダンな玄関ホール
左上/ショアラインのベル学長とがっちり握手

ショアラインでは、国際学生のための英語学校で能力に応じたクラスに入り、ある基準に達すれば、大学の単位も取れるようになっていきます。大学入学後は本人の努力次第で四年制大学、例えば州立ワシントン大学などへの編入の道もひらかれます。

——この学校の特色は、どのような点でしょうか。

白井 少人数制に徹していることですね。少人数の利点は、一人一人きめ細かい指導ができるということです。それが正しい教育の原点だと思っています。

砂原 今の若い人には、人間として一番基本になる常識的な訓練が欠けているように思います。この少人数で暖かい家庭的な雰囲気の中で、それらの事を、国際的な視野に立つて教育していきたいですね。

——カリキュラムには、日本の伝統文化もかなり含まれていますか。

白井 外国へ行く場合、語学ができれば十分というのではなく、コミュニケーションを深めるために、日本の伝統文化をよりよく理解することが必要です。

砂原 例えばお茶やお花の英語によるデモンストレーションは、とても喜ばれるのですよ。

——卒業されると、どういう所に就職されますか？

砂原 大企業から中小企業まで様々です。おかげさまで就職率は100%です。

白井 ワープロや英文タイプなど、事務職に必要な技能の習得にも力を入れています。

この学校は、国際都市神戸という素晴らしい地の利を生かして、今後まだまだ単に英語が話せるだけでなく、深い教養に裏打ちされた、真の国際人を育成していきたいと思っています。

砂原 家庭に外国の方々を快く迎え、神戸のことをよく知っていたら、お互いに暖かい交流を持つことができるような国際感覚溢れる女性として、巣立って欲しいですね。

神戸山手インターナショナルアカデミー
(神戸山手学園姉妹校) 〒650 神戸市中央区山本通5丁目9番15号
☎078-351-2664(代)

WFF89

Pulchrade-WORLD FASHION FAIR 89

ワールドファッションフェア神戸NEWS

11月に開催されるWFF'89(ワールドファッションフェア)。神戸の催しはファッションあり、イベントあり、街歩きあり、グルメありと盛りだくさん。最新ニュースをお届けします。

神戸ファッションフェスティバル'89

神戸ファッションフェスティバルの全体テーマは「ズバリ「スペイン」」。二十一世紀のトレンドセッター」と評される情熱の国・スペインが世界に誇る一流のファッションが、華やかに披露される。

★シビラ・ソノンド '90春夏コレクション

十七歳でイヴ・サンローランのアトリエに入り、弱冠二〇歳で初めて開いたコレクションでスペインの最優秀デザイナーに輝いた。昨年からはミラノ・コレクションに参加するなど、二十五歳の若手デザイナーとしては逸材と評判も高い。

彼女の来日は今回が初めてで、女性らしい独特のやさしさを備えた新しい「美」の世界の展開には

大いに期待できる。

11月19日(日) 4時、6時/アシックスアトリウム/5000円

★神戸のニュークリエーターと 日比野克彦

ハイカラ都市・神戸のファッション性の高さは衆目の認めるところだが、その「神戸ファッション」のオリジナリティを更に強くアピールしようと、若手デザイナー四人が人気アーティスト・日比野克彦氏と共演する。

ニュークリエーターは中村一夫(イズム)、宇敷道子(ロートレ・アモン)、松永千春(ワールド)、井上真由美(オールスタイル)で、新しい神戸の情報発信に向けて、今、着々と準備中だ。

11月20日(月) 4時、7時/アシックスアトリウム/5000円

★ロエベ

'90春夏コレクション

スペインは世界でも有数の皮革の産地として知られ、独特の皮なめし法によるなめらかな皮製品を愛好する人も数多い。中でもスペイン王室御用達業者として一四〇年の歴史を誇るロエベは、世界の主流階級から大きな人気を集めている。

日本初のフルコレクション・ショーというのも話題の的で、四代目エンリケ・ロエベ氏を招いての格調高いショーに期待の声も大きい。

11月21日(火) 2時、4時、6時30分/ホテルオークラ神戸/5000円、デザイナーショーは30000円

★トータル・ファッション・セクション

アパレル、真珠、ジュエリーなど兵庫県下のファッション産業を一堂に集める。同時に展示されるスペインの生活と市の様子も見もの。

11月18日(土) 20日(月)/10時~17時/ワールド記念ホール

神戸ファッションタウン 街びらきイベント

ポートピア'81の博覧会跡地に建設された神戸ファッションタウンは、アパレルのみならず、食、住、遊、知、健と広く生活文化にかかわる企業、三十八社によって構成され、この秋グランドオープンを迎えた。

★神戸ファッションタウン完成 記念セレモニー&パーティ

ファッションタウンの完成を祝う華やかな開会式とパーティ。ファッションタウンの今日までの歩みを、映像などで紹介する。マリーンのイメーτζソングの発表も…。

11月18日(土) 10時~13時30分/セレモニーは市民広場/パーティは神戸ポートピアホテル

★光りのFLOATATION'89

地元、港島小学校の生徒による「港島太鼓」で幕開け。「FREETHE KFT FUTURE」をテーマに華々しいイベントを展開する。音楽監修・加藤和彦、監督・小久保隆、ビジュアルプロデューサー・田中敬一という豪華顔

あわせて、音と光りのスベクタク
ル・ライブイベントが繰り広げら
れる。

11月18日(土)18時~19時30分/市民広場
を中心にタウン全貌

★FLOATATION WALK
38&ストリートパフォーマンス
&SHOP

三十八社のビルを巡るイベント
オリエンテリングで、テーマは
「男と女の第二章」。屋内ではブ
ライダルショーやシングルパーテ
イ、ショッピング、屋外ではミュ
ージックイベントや大道芸人のパ
フォーマンスが楽しめる。ファッ
ションタウンならではのオシャレ
な雰囲気味わえそう。

11月18日(土)19日(日)/神戸ファッショ
ンタウン全企業及びストリート

★KOBEMFASHIONPARTY
(FLOATATION'89前夜
祭)

神戸の高感度人間にはワンラン
ク上のパーティーとして定着してい
る、KOBEMFASHIONPARTY
イが、今年は街びらきイベントの
前夜祭として開催される。参加者
約二千人という大パーティーにはフ
ァッションデザイナー、ディレク
ター、それにお洒落大好き人間が
顔を揃える。

ゲストはファッショナブルなス
テージが印象的なマリリン。

11月17日(金)18時30分~22時/神戸ホ
トビアホテル/有料

★スポーツフェスティバル
スポーツの秋にピッタリのイベ
ント。ファッションタウン加盟企

業の社員とタウン住民がひとつに
なつて、スポーツ交流の祭典を繰
り広げる。

11月3日(祝)10時~16時/ワールド記念
ホール(関係者のみの参加)

'89
グルメディアKOBEM

★グルメKOBEMセクション

洋菓子、コーヒ、酒など神戸
グルメを支えるのは多彩な食品産
業群。その魅力を総覧し、神戸の
食文化のルーツをさぐる「グルメ
展示会」。

11月21日(火)23日(土)/サンポートホール
/2000円

★グルメブロムナード

十日間にわたり、神戸の街は
「グルメ」一色に染まる。ハイカ
ラ神戸の雰囲気伝える各店に特
別ゲストを迎え、楽しい食談義に
花を咲かせる。大島渚、桐島洋子



バーバラ寺岡、山内美郷、クロード
チアリ、奥村彪生、黒木香さん他
の特別ゲストの食談義のあとお店
の自慢料理に舌鼓を。共に神戸の
「おいしいひと時」を楽しむ企画
11月17日(金)26日(日)/アランシヤベル
北野クラブ、榮勢地約35店の予定/金費制
(店により異なる)

★グルメパーティー

主なホテルや旅館による新しい
グルメパーティーの提案。神戸なら
ではの新しき、独自性のあるオシ
ヤレなパーティーは、若者からアダ
ルト層まで幅広く楽しめるものに
なりそう。

11月20日(月)28日(日)/主要ホテル、旅
館/金費制

★グルメシンポジウム

グルメシティ神戸の今後の方向
を考えるシンポジウム。講師は国
立民族学博物館教授の石毛直道さ
んら。

11月16日(木)/神戸商工会議所/有料

Fashion Show No.6

ハイカラKOBENOW



WFF89

KYOTO・OSAKA・KOBE

協賛行事

このイベントNEWFFKOBENOWに参加しています。



長井弘子

〈三越オーダーサロン〉

六甲と神戸 神秘の山の中での願想は、大いなるものからのメッセージが伝わってくる。

そして、あらゆるものに光がさしこみ、ゆらめきかけ包んでくれる。高みの場所から海の水平線を眺めながら、光の精、木の精、風の精、水の精、人々が集い、空を翔び、地で舞い芳香な酒の如くの陶醉。大いなるものに、守られ、次なる可能性を秘めながら。



藤本ハルミ

〈オートチュールマーガレット〉

航海 一族に船乗りの多い血のせいかな、私は強く海にひかれる。太陽の光をうけてキラキラ輝くみなをみると、未知なる未来への期待に今も心をふるえ、青春するのである。

別れのドラが鳴って、五色のテープが空に舞えばもう引返すことはできない。あの青い紺碧の広がりの中に数知れぬ美しいものや、おそろしい運命がひそんでいるようが、インディジョーンズの音楽に乗って大海原にこぎ出すのだ。人魚姫にあいたい。群をなして進むイルカにあいたい。8月の鯨にも…。でも私の夢の中にはつらい嵐や、沈没はでてこないのです。ハッピーな船旅に乾杯！



前川富紀子

〈ニットーズスペース前川〉

ニットの世界に足を踏み入れて20数年……ニットに魅せられた方々とのふれあいの場としての、ニットーズ・スペースを始め、より女らしく美しく、エレガントに装う衣装造りのためのアドバイスをし続けながらも、私のイメージが十分表現できないまま、あれこれ迷いながら歩んできました。

幸い「KFM」の一員に加えて頂きましたので、1本の糸に託す私の熱い思いを、ハイカラKOBENOWで披露したいと思います。

スタッフ 美術/石阪春生・音楽/新井 満・照明/林 史朗・音響/網中秀雄

福富芳美

プランナー

特別会員 〈神戸ファッション専門学校校長・大丸神戸店ジバンシィサロン〉 岡田美代/小泉美喜子/妹尾光子

パール 大月真珠/木下真珠/田崎真珠/森真珠/ミキモト/山勝真珠

▲ '89 K.F.M. ▲

MODELLISTE



市野木江充子

〈市野木ニッティングスタジオ〉

いろいろの国の人達が街になじんで、神戸の人の顔をして暮らしている、ほかのところではミスマッチと思われる服装もここでは何故かトラッドに見えてしまう……。

まさに“ハイカラ”ですねえ。KFMコレクションでは、神戸を意識しないで、自由にのびのびと創ってみようと思っています。御覧いただいた方々が、あ、やっぱりハイカラ神戸と感じて下さったら、とてもうれしいです。



丹野最世子

〈ブティック魔女〉

須磨海岸 須磨の海に住む人魚姫、海底では、ピンクの玉玉の魚、黄色い玉玉の魚、むらさき、グリーンの魚たちが、むれをなし、須磨海岸でのパーティの模様を話している。フレンチレグエで楽しく踊っていた若者たち。夕陽が沈む海辺のレストランで、フォーマルパーティを繰り広げていた、しなやかな神戸の女性たち。ウォーターフロントには、さまざまな人々の心のくつろぎが有り、詩が有り、物語りが有る。此処数年間、スキューバダイビングで色々な海に潜るマイライフ、海と魚と海岸は、いつも私の心の大部分を占めて、海の中で漂い、ゆれ動く感覚で、リゾート気分をデザインしているしなやかな女性のために、が私の今回のテーマです。



大西節子

〈大丸神戸店ジバンシィサロン〉

旧居留地に私の毎日の仕事場がある。中央区明石町40番地、大丸神戸店、30年も住みなれた私の街だ。神戸のハイカラのすべてが、呼吸し、肌に伝わって来る街並である。今回はこの居留地がテーマ。私の熱い思いを、どこまで表現出来るかは、疑問ではあるが——。海外の文化をいち早く日本の生活の中に取り入れた発祥の地、神戸の気質、そしてその原点をさぐってみたかったのです。今や、私の住む大丸周辺はビジネスの街、美しいファッションの街、そして開けゆくハーバーランドへと、新しい文化を伝える街でもある。大丸前に残された当時の街灯、瓦斯灯のあたりは永遠にともさけてゆくのであろう。

1989年10月4日〈水曜日〉
神戸ポートピアホテルB1f 偕楽の間

ポートライナー市民広場駅前☎078-302-1111大代表〈駐車場有〉

後援/神戸市・兵庫県・神戸商工会議所・神戸新聞社・サンテレビ・月刊神戸っ子

K.F.M.事務局〒650神戸市中央区山本通2丁目2-7・クチュールマーガレット内/藤本ハルミ☎078(242)5690

昼の部 P.M.3:00 ￥3,000

夜の部 P.M.6:30 ￥15,000〈ディナーショー〉